

労働政策フォーラム 平成28年1月25日

「若者と向き合うキャリアガイダンス～若年の就職困難者支援の現場から～」

ハローワークにおける若年者支援

(ハローワーク横浜のケースを中心に・・・)

ハローワーク平塚 職業相談部門

就職促進指導官 土屋 秀樹

雇用のセーフティネットを担う公共職業安定所

- 就職する希望を持つ全ての人（年長フリーター等の若者、障害者、母子家庭の母、生活保護受給者、高齢者等）への支援を進めていくためには、**企業への指導・支援と一体となった職業紹介**が効果的
- このため、**職業紹介と雇用対策**（事業主指導・支援を伴う）を一体的に実施するハローワークが雇用のセーフティネットとしての中核的な役割を果たすことが必要

失業認定に当たっては、再就職の意思が疑わしい者について、保険者たる国が直接職業紹介を実施して真意を厳格に確認することが不可欠。

職業紹介

職業紹介・職業相談、求人開拓、職業訓練の受講あっせん

年長フリーター等の若者、障害者、母子家庭の母、生活保護受給者、高齢者等の就職の実現には、企業への指導・支援と一体となった職業紹介や、関係機関と連携した「チーム支援」等が効果的。

求職者に対しては雇用安定策のみならず、生活支援等も重要。

雇用保険／求職者支援

失業認定・給付、給付制限、不正受給に対する返還・納付命令等の処分
職業訓練受講給付金の支給等

雇用対策

障害者の雇用率達成指導
雇用維持に係る支援・指導
求職者に対する住宅・生活支援 等

若者の就職支援

○新卒者への支援

- ・ 新卒応援ハローワーク(全国57か所)を拠点とし、大学等と連携した支援を実施
- ・ ジョブサポーターを活用し、学校訪問による未内定者の把握、求人開拓、職業相談・紹介を実施

○フリーター等の正規雇用化の推進

わかものハローワーク(全国28か所)、わかもの支援コーナー・窓口(全国212か所)等において、正規雇用化のための一貫した支援を実施

企業とのマッチング支援

○ユースエール認定企業、若者応援宣言企業認定制度の実施

若者の採用・育成に積極的で、若者の雇用管理の状況などが優良な中小企業を若者雇用促進法に基づき厚生労働大臣が「ユースエール認定企業」として認定する制度が平成27年10月からスタートしました。

企業の情報発信を後押しすることなどによって、仕事をお探しの方の就職を支援します。



○トライアル雇用制度

期間の定めのない雇用(常用雇用)での就職に不安のある方などが、常用雇用への移行を前提として、原則3カ月間その企業で試行雇用として働いてみる制度です。

ハローワーク横浜の概要

- 神奈川県内14か所のハローワークのうち、最大規模のハローワークで、平成26年度の新規求職申込件数は、約4万6千件。
- 一般求職者向けの職業相談窓口は3つの部門に分割されており、この他に、職業訓練関係部門、職業相談企画部門、専門援助部門、学卒第一部門に細分化されている。
- 附属施設として、ハローワークプラザよこはま、マザーズハローワーク横浜、横浜新卒応援ハローワーク、横浜わかものハローワークを所管している。
- 平成27年11月30日に庁舎移転を行い、現在は新たな庁舎（最寄駅：JR石川町
横浜市中区山下町209 帝蚕関内ビル1F
～4F）で業務運営しています。



ハローワーク横浜の主な若年者支援施設

- 就職支援相談コーナー（ニート・フリーター相談コーナー）
ハローワーク横浜 職業相談企画部門内
- 横浜新卒応援ハローワーク
横浜市西区北幸1-11-15 横浜STビル16階
- 横浜わかものハローワーク（通称：横浜わかハロ）
横浜市中区本町4-40 横浜第一ビル9階

ニート・フリーター相談コーナーへの誘導

- ▶ ○ 職業相談の過程において判断
 - 一般の職業相談窓口において、自主選択が難しい、一定程度の支援の必要性があると判断された若年者を案内
- ▶ ○ 各種ツールの活用
 - キャリア・インサイトや一般職業適性検査(GATB)の結果から、課題を抱えていることが疑われる者を案内
- ▶ ○ 関連機関からの誘導
 - 若者サポートステーション等との連携の中で、サポートステーションで支援中、支援終了の若年者のうち、就職活動の開始が可能と思われる者を案内
- ▶ ○ 本人からの申し出で

基本的な相談の内容

ハローワークに来所した目的の確認

- ・ハローワークに足を運んだ経緯や、今どのようなことで困っているかなどを共有し、信頼関係の構築を図る。
- ・就職に向けた意欲の確認に併せ、具体的な希望など、自身の中でどの程度まで検討が進んでいるか確認。

就職に向けた課題や解消すべき箇所の検討

- ・これまでの就職活動の経過を聞き取りながら、必要に応じ労働市場の解説を行う。
- ・好きなことや嫌いなこと、得意と認識していること、やってみたい作業などについて相談。

課題の解消に向けた方策の提案・実行

- ・抽出された課題が、職業相談によって軽減・解消することができるものなのか等を検討。
- ・苦手な作業や困難な業務について話し合い、どう対処するか、必要に応じ影響の少ない職種を検索。

求人への応募支援・定着支援

- ・求人の内容を吟味し、本人の特性からアピールできる事柄や意思等を検討。
- ・応募のために必要な応募書類作成支援、面接選考の際の注意点などについて指導。

就職困難な若者の傾向

- ▶ ◎ **意欲は高いものの**具体的目標が定まらない
「正社員」への意欲は非常に高いがその具体的過程が曖昧
- ▶ ◎ **「こだわり」が多く、**職種が絞られすぎてしまう
人と関わりたくないなどこだわりが強く、希望する職種がない
- ▶ ◎ **偏った特性がある**ことについて受容していない
特定の作業が難しいなどの特性について気づきが不足している
- ▶ ◎ **就職に対する意識(意欲)が希薄**
ハローワークに来所したが、「今」でなくてもよいと考える、または、
今、何をすべきかがわからない

相談を進めるにあたり比較的多く活用するツール①

厚生労働省編 一般職業適性検査(GATB)

☆ メリット

- ・ 「能力」を数値化することができるので、検査の結果を踏まえた相談に説得力がある。
- ・ 比較的順応しやすい作業特性が明らかになるので、今後の希望職種への目標設定が行いやすくなる。
- ・ なぜ自分が迷っているのか、など、混乱している原因の一部が明らかになる場合がある。迷っている自分を受容したうえでの職業選択が可能になる。
- ・ 能力のみならず、性格特性が分かる場合がある。

☆ デメリット

- ・ テスト結果ととらえてしまう相談者の場合、自信喪失につながりかねない。
- ・ 即時採点・結果解説が難しい環境の場合、改めて相談を促さなければならぬなど、ふりかえりまで時間がかかることがある。

相談を進めるにあたり比較的多く活用するツール②

キャリア・インサイト(統合版)

☆ メリット

- ・ 基本的に本人のペースで利用できるのもので、他者に惑わされず進められる。
- ・ 質問が簡単な内容なので、回答が容易。
- ・ ゲーム的な感覚で気軽に利用することができる。
- ・ EC, MCが統合されたことから、1つのソフトで年齢層に関わりなく利用することが可能。
- ・ 即時にコンピュータによる採点が行われることから、受検者を殆どまたせることなく結果が速やかに確認できる。

☆ デメリット

- ・ システムを用いる必要があるため、十分な環境が整っていない限り、集団に対する実施には適さない。
- ・ MCの実施者の中には、パソコンの使用が困難である方も含まれており、そのような方の場合、常に説明を行い続けなければならない。

相談を進めるにあたり比較的多く活用するツール③

OHBYカード

☆ メリット

- ・ 視覚を用いて職業のイメージを構築することができるので、言葉で説明するよりもわかりやすい。
- ・ 話しが苦手な相談が進みにくい方であっても、相談とカードを併用することで、話が進めやすくなる。
- ・ 職業理解及び自己理解双方の理解を同時に深めることができる。
- ・ 実施のスタイルの自由度が高く、単独利用、相談時の活用、集団での活用いずれにおいても効果が期待できる。

☆ デメリット

- ・ オートドックスな使用方法を用いた場合、ある意味「質問せめ」になってしまう面もあり、受検者の負担が大きい。
- ・ 仕事への意欲が希薄な者の場合、ネガティブな理由から全ての職業を消去法的に排除してしまうことがある。

相談事例①

《18歳女性のケース》

☆ 背景

- 高校在学中に学校で相当数の訓練を受けながら就職活動を行ったものの、内定を得ることができず卒業。

☆ 就職に向けた課題

- 対人関係において著しく苦手な面があり、他者を前にして思うように話をすることができない。

☆ 支援のポイント

- 所持しているスキルを有効に活用して、長期的に継続して働ける仕事の内容を吟味。
- 具体的な練習回数は極力控えることとし、話ができなくなってしまう理由について話し合いを行う。

☆ 支援結果

- ◎ 一般企業の経理職として正社員に内定。

相談事例②

《37歳男性のケース》

☆ 背景

- 品出しや調理補助のアルバイトの経験があるが、裏方的な作業内容であった。今後は正社員として働きたいという意欲が高い。

☆ 就職に向けた課題

- 自己否定感が強く、やりたいことが無い、意見を表明することができない、などの就職活動を開始するための準備が不足。

☆ 支援のポイント

- 自ら発言することは少なく、あっても単発。本人の考えていることを共有できるような相談を行う。
- 自己理解を深めつつ、就職活動の方法（書類作成や面接ポイント等）のレクチャーを実施。

☆ 支援結果

- ◎ 体調悪化による中断をはさみ、運転手を目指し倉庫作業に内定。